

目指すべき姿

「歩行者と自動車が共存した歩きやすい通り」

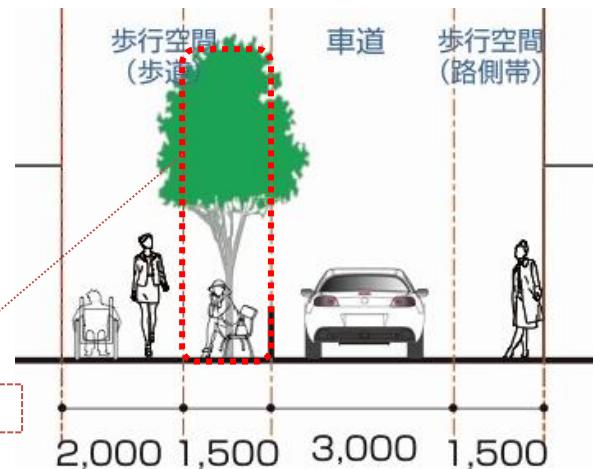
「袋町裏通りらしさが演出できる通り」

を目指します！

基本的な考え方（整備方針）

- ①ユニバーサルデザインに配慮した道づくり
- ②通過型の自動車交通を抑制する道づくり
- ③アクティビティが生まれる空間づくり
- ④イベント等による道を使ったにぎわいづくり

「アクティビティが生まれる空間」をつくる



構造的ポイント

- ◆できるだけフラットでバリアフリーにする。
- ◆きょううさくがた 狹窄型歩車共存道路をベースに自動車の速度を抑制する。
 - ・アクティビティ空間を多く設ける
 - ・通りの出入口に車の速度抑制を設ける
(蛇行、ゲートサイン、ハンプなど)
 - ・車がすり抜けできる空間を一部設ける

デザイン的ポイント

- ◆視覚的に車が速度を抑制する道路をデザインする。
- ◆広場の中を通るような一体感のある道路をデザインする。

アクティビティ空間のテーマ

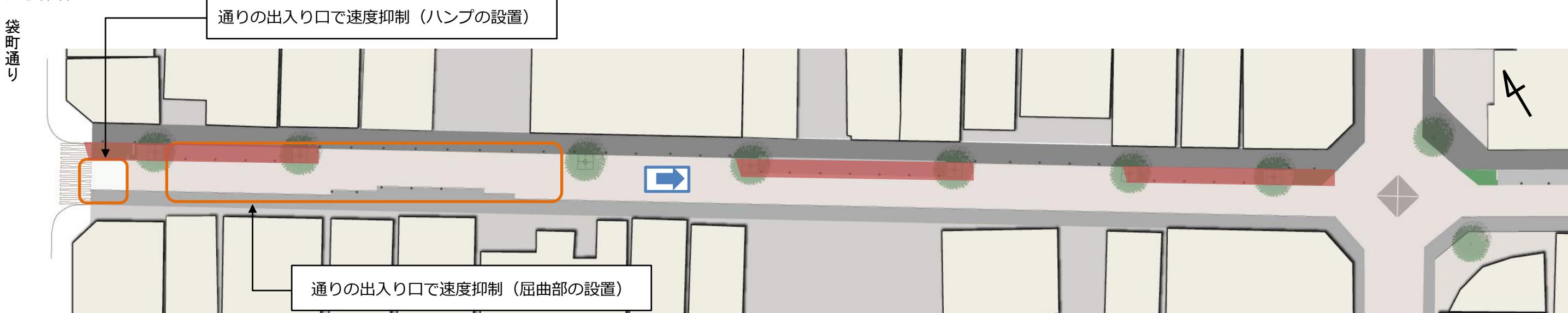
- ◆緑・四季を感じる空間
- ◆デザイン・アート性の高い空間

にぎわいづくりのポイント

- ◆時間を定めてイベントの開催等

道路平面と空間構成

■西側街区



■東側街区

